

## 大阪市 今昔物語

### 東京と違い 市民が築いた大阪のまち

#### 「浪華の八百八橋」の由来

橋の半分が「公儀橋」と呼ばれる幕府が架けた橋でした。

屋橋は「公儀橋」にされ、現在も重要な交通路として御堂筋を支えています。

#### 大阪人がつくった財産



江戸時代の大坂は、江戸の「八百八町」、京都の「八百八寺」と並んで、「浪華の八百八橋」と呼ばっていました。本当はそんなにありませんが、街の勢いをそう表現したのです。実際の橋の数を比べると江戸の約350に対して、大阪には約200ほどしか架けられていません。

大阪がなぜ八百八橋の町と呼ばれたのかは、誰が橋を架けたのかに由来します。大阪市役所の南側を流れる土佐堀川に架かる「淀屋橋」は、江戸時代に諸国から大阪に上ってくる諸藩の米を売りさばく米市を北浜に開き巨万の富を得た豪商淀屋の名を冠したもので、淀屋の豪奢な生活ぶりが幕府のにらむところとなり私財が没収され、淀

大阪市役所をなくし、市民の共有財産を売り飛ばそうとしています。歴史も伝統もふみにじるもので、とても許せるものではありません。

淀屋橋と大阪市役所

#### 江戸の橋は、約350ある

#### 町人が自腹で架けた「町橋」

# 子どもの笑顔 はじける大阪に

今日の  
特集

子どもは社会の宝。豊かな成長はみんなの願いです。

大阪市民みんなが力をあわせて、子ども医療費を「中学校卒業まで助成する制度」に改善させてきました。ところが、大阪市が廃止、解体されると、税収が今の4分の1に激減した「特別区」になり、財源不足でこれまで市民がつくってきた子育て支援策の改悪、削減がすすみます。

(2~3頁に続く)



子ども医療費助成の改善を求める運動



日刊 I LOVE  
OSAKA  
大阪

「棄権は危険」ぜひ投票に行き、「反対」とお書き下さい。

よみがえれ  
**大阪**

「大阪市をよくする会」機関紙 2015年5月7日 第390号  
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階  
TEL (06) 6356-2047 FAX (06) 6357-5303  
HP : <http://yokusurukai.com> Mail : [yokusurukai@nifty.com](mailto:yokusurukai@nifty.com)  
大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、日本共産党、障協連、大生連、大信連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。

大阪市をよくする会 検索

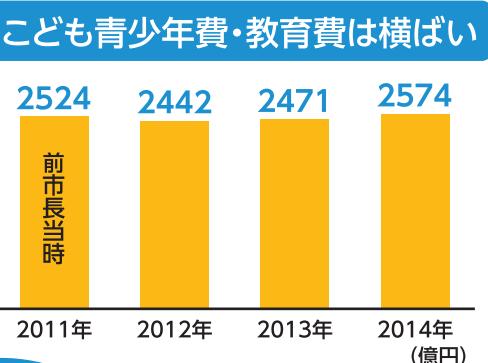
## 「大阪市」なくしてどーなる大阪④

# さらにはすすむ 子育て世代泣かせ

橋下市長は、市長に就任直後、「大阪市民はぜいたく」と市民サービスを削減してきました。若者や子育て支援も例外なく次々と切り捨ててきました。(左表)

橋下市政が削りに削った若者向け施策	
女性の交流、相談	子育て世代の学習の場
保育所など福祉施設の	小児科・産科で大きな役割果たしていた
水道料金の減免制度の廃止	新婚世帯の家賃補助の廃止
クレオ大阪の機能の縮小・削減	住吉市民病院の廃止
子育て世帯で助かっていた	若者の居住を支援していた
保育料の軽減措置の改悪	新婚世帯の家賃補助の廃止
水道料金の減免制度の廃止	住吉市民病院の廃止

## さらに「都」構想で



投票用紙に  
「反対」と記入し  
大阪市廃止・  
解体にストップ

## 大きな財源、権限を 「くらし第一」を使って実現

保育所の増設で、  
待機児なくし  
安心して働ける環境を

- 保育料の保護者負担の軽減を
- 公立幼稚園・保育所の「全園民営化計画」をやめ、それぞれの良さをいかした幼稚園、保育所に

新婚世帯の家賃補助制度の復活を

### 安心の子育てできるよう

- 子どもの医療費助成制度を“高校卒業まで”に改善を

### 自校調理方式で、 あたたかい中学校給食に

- 全学年で35人学級編成にし、ゆき届いた教育に

### 「特別区」になり

#### 小中学校の統廃合



税収が4分の1に激減し  
「選挙で選ばれたものが  
決めていく」(橋下市長)と  
問答無用で

子どもの医療費助成の後退

### 「都」構想の「協定書」に盛り込まれている

いじめ相談、不登校児童の通所事業などの  
子育てプラザの廃止

#### 教育相談事業の削減

温水プールやスタジオ、マシンジム

#### プールの削減

在宅の子育て支援などしている  
子育てプラザの廃止

#### 男女共同参画施策の大幅な後退

ドーンセンターとクレオ大阪

#### 全園民営化

公立幼稚園・保育所の

#### 保育料の値上げ

